

El Capistan

dTape Echo

日本語ユーザーマニュアル



strymon®

もくじ

各部の名称と働き	3
フロントパネル・コントロール	3
リアパネルI/O & コントロール	7
ライブエディット機能	9
Low End Contour(低域の輪郭)	9
Tape Crinkle(テープの劣化)	10
Tape Bias	11
Boost / Cut	12
MIDI クロックとの同期	13
MIDI エクスプレッションへの反応	14
パワーアップモード	15
入力レベル	15
バイパスモード	16
スピルオーバーモード	17
EXP/MIDI ジャックの設定	18
外部コントロール	20
エクスプレッションペダル セットアップ	20
フェイバリットスイッチ セットアップ&コンペア モード	21
タップ モード	23
MultiSwitch Plus の設定	24
MultiSwitch Plus の使用法	25
本機のプリセットをMultiSwitch Plus でセーブする	25
MIDI 機能	26
MIDI チャンネルの設定	26
MIDI モードにおけるプリセットの保存	31
MIDI スペシフィケーション	32
MIDI プログラムチェンジ	32
MIDI CCs	33
ファクトリーリセット	34
主な仕様	36
スペシフィケーション	37
Appendix 1:サンプルレセッティング	38
Appendix 2:パワーアップモード クイックリファレンス	40
ジェネラル・オプション	41
MIDI & Jack オプション	42
Appendix 3:ライブエディットコントロール クイックリファレンス	43
品質保証に関して	45

各部の名称と働き

フロントパネル・コントロール

TAPE HEAD

テープマシーンやヘッドの構成を変更します。

詳しくは[5ページ](#)をご覧ください。

TIME

選択されたテープヘッドの種類それぞれのディレイタイムをコントロールします。「fixed、multi」モードではテープスピードを調整します。「single」モードでは、スライドするヘッドの位置を調整し、ディレイタイムを決定します。

TAPE AGE

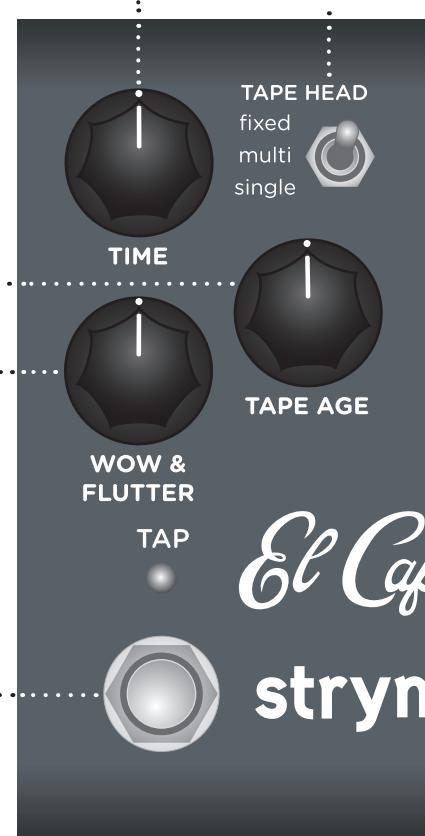
テープの劣化やテープヘッドの調整不良によるテープの周波数帯域を調整します。劣化したテープは周波数帯域が制限され、高域特性が低下します。**TAPE AGE**コントロールはこのテープコンディションを再現します。最小の位置で新しいテープの状態を、時計回りに回すに従ってテープが劣化した状態を再現し、サウンドがかなり暗くなります。

WOW & FLUTTER

テープスピードの不安定さに影響するメカニカルな要因をコントロールします。この症状は自然なテープモジュレーションとして現れます。低い設定値では、良く整備されたマシンのようにピッチの揺れの少ないサウンドが得られます。高い設定値ではピッチの揺れが大きくなります。中間に設定すると自然なモジュレーション効果が得られます。

TAP

テンポに合わせて4分音符のタイミングでタッピングすると、ディレイ・タイムが設定できます。タッピングのスピードに合わせて**TAP LED**が点滅します。



NOTE: TAPフットスイッチを長押しすると、リピート音を永続的にホールドすることができます。

各部の名称と働き

フロントパネル・コントロール

MODE

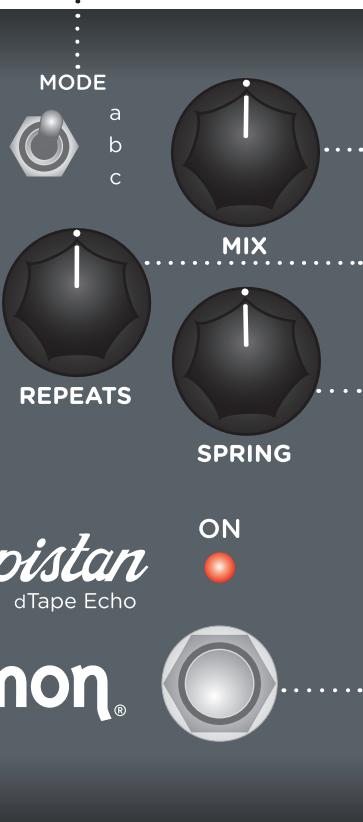
各テープマシーンの異なる動作モードを選択します。

詳しくは[5ページ](#)のテープヘッドのセクションをご覧ください。

MIX

アナログのドライ信号と、エフェクトのウェット信号のミックスバランスを調整します。

3時の位置で 50 : 50 のミックスが得られます。



REPEATS

エコーのリピート数を調整します。

リピート数は、1回から無限に繰り返されるリピートまで設定できます。

SPRING

スプリングリバーブレベルが調整できます。

ON

エフェクトのオン/オフを切り替えます。

LED の点灯時がエフェクト・オンの状態です。工場出荷時にはトゥルーバイパスに設定されています。

詳細は[16ページ](#)をご覧ください。

テープヘッドに関する詳しい説明

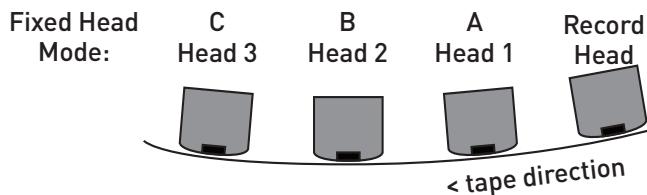


The TAPE HEAD and MODE options

固定 (fixed) ヘッド

再生ヘッドは固定されているため、TIMEノブがテープスピードを変化させてディレイタイムが決まります。

- **MODE A : Head 1**、ショートディレイ、タップテンポ=16分音符
- **MODE B : Head 2**、ミディアムディレイ、タップテンポ=符点8分音符
- **MODE C : Head 3**、ロングディレイ、タップテンポ=4分音符

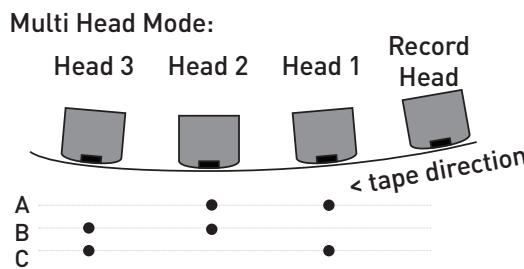


マルチ (multi) ヘッド

3つの再生ヘッドのうち2つが同時に選ばれます。

TIMEノブはテープスピードを変更します。

- **MODE A : Head 1&2**、ヘッド1&2が再生します。
- **MODE B : Head 2&3**、ヘッド2&3が再生します。
- **MODE C : Head 1&3**、ヘッド1&3が再生します。



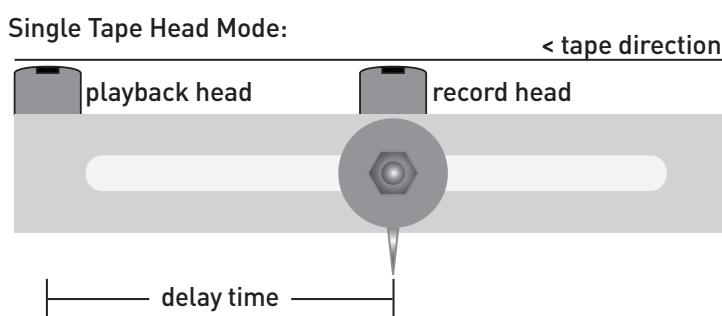
テープヘッドに関する詳しい説明

シングルテープ (single) ヘッド

テープスピードは固定です。

TIMEノブは録音ヘッドのポジションを移動しディレイタイムを変更します。

- **MODE A** : テープモーターがダブルスピード
- **MODE B** : Head 2、テープモーターがノーマルスピード



- **MODE C** : Head 3、サウンドオンサウンド モード

サウンドオンサウンド : シングルテープヘッド - モードCは、全テープ長を使ったテープルーパーとしてプレイできます。モードAまたはBで録音された音は、モードCでも残っています。2つのテープスピードがあり、TIMEノブが12時より左ポジションでダブル、右ポジションでノーマルスピードです。

TAPフットスイッチを一度押すと、テープのスプライスポイント（先頭）が決まります。2度目の**TAP**スイッチで2番目のスプライスポイントが決まります。3度目の**TAP**スイッチで一発消去が実行されます。



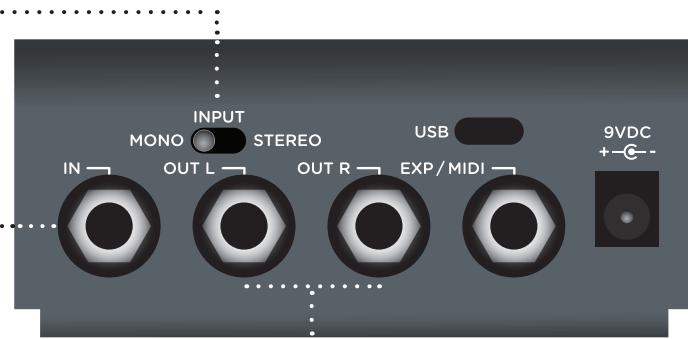
リアパネル I/O & コントロール

オーディオ入力セレクター

MONO：ギターのようなモノ入力信号に使用します。

出力はステレオです。モノ出力での使用は**OUT L**のみを使用します。

STEREO：ステレオ入力信号の場合に選択します。出力はステレオです。



IN
モノラル、超低ノイズのディスクリート
Class A JFETプリアンプ入力です。
ステレオ入力にはTRSステレオアダプタ
ーまたはTRSステレオケーブルを使
います。

OUTPUTS

ローインピーダンスのステレオ出力で
す。モノ出力使用時は**OUT L**のみ接続し
てください。

リアパネル I/O & コントロール

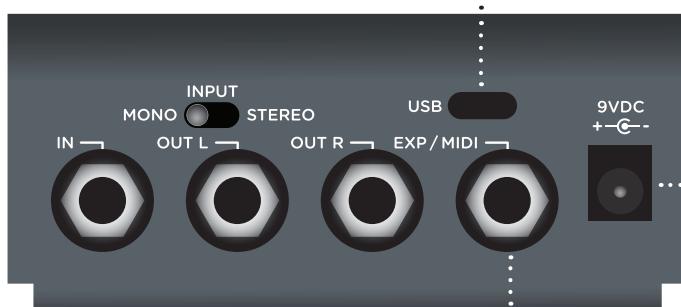
USB

MIDIコントロール、ファームウェアアップデートを行う際にコンピューターと接続するポートです。

9VDC

9VDC（センターマイナス、300mA以上）の電源と接続します。

- 9VDC センターマイナス
- 300mA以上



EXP / MIDI

本機を外部からコントロールできるマルチコミュニケーションジャックです。以下のオペレーションモードが選択できます。（詳しくは18ページをご覧ください）

エクスプレッションペダルモード：[ページ20](#)

フェイバリットモード：[ページ21](#)

Tapモード：[ページ23](#)

MIDIモード：[ページ31](#)

MultiSwitch Plusとの使用：[ページ24](#)

ライブエディット機能

以下のステップでライブエディットモードに入り、セカンダリー機能が設定できます。

Low End Contour (低域の輪郭)

エコーリピートの低域周波数特性をコントロールします。

最小では低域が伸び、最大ではマグネティックスタイルの低域が削れた特性になります。

- ON フットスイッチを長押ししてライブエディットモードへ入ります。

両 LED が点滅したらスイッチを離します。



- TAPE AGE (**LOW END CONTOUR**) ノブを回して低域特性を調整します。

ON LED がグリーン (低域を強調) からアンバー (低域を減少) へ変化します。

デフォルト設定は 12 時の位置です。

- ON フットスイッチを押し、このセッティングを保存してプレイモードへ戻ります。

NOTE : このオプション設定は、フェイバリット毎、MIDIプリセット毎に保存できます。

ライブエディット機能

テープの劣化

摩擦、折り目、つなぎ目、汚れといったテープの異常な状態を再現します。テープ劣化の特性はテープスピードによっても表れます。最小設定で新しくクリーンなテープを再現し、最大で長年使用し劣化したテープを再現します。

参考資料：<https://allaccess.co.jp/blog/guitar/709/>

- ① ON フットスイッチを長押ししてライブエディットモードへ入ります。
両 LED が点滅したらスイッチを離します。



- ② WOW & FLUTTER (TAPE CRINKLE) ノブを回して、テープのコンディションを調整します。TAP LED がグリーン（新しいテープ）からアンバー（劣化したテープ）に変化します。デフォルト設定は 12 時の位置です。

- ③ ON フットスイッチを押し、このセッティングを保存してプレイモードへ戻ります。

NOTE : このオプション設定は、フェイバリット毎、MIDIプリセット毎に保存できます。

ライブエディット機能

テープバイアス

テープ・マシンのバイアス設定を行います。高い設定値ではヘッドルーム（録音レンジ）が狭く、音量が低く＆汚れた音になります。低い設定値では、ヘッドルームが広くなるため、クリーンなサウンドが得られます。

参考資料：<https://allaccess.co.jp/blog/guitar/709/>

- 1 ON フットスイッチを長押ししてライブエディットモードへ入ります。

両 LED が点滅したらスイッチを離します。



- 2 図のように REPEATS (TAPE BIAS) ノブを回してバイアスを調整します。（12 時の位置がデフォルト設定です。）両 LED が点灯してステータスを以下のように表示します。

- アンダーバイアス：グリーン
- オーバーバイアス：アンバー

NOTE : 最も調整されたバイアス設定にするには、コントロールを 9 時の位置に設定してください。バイアス値が低く、高域の強調されたサウンドを求める方は、このコントロールを最小値の設定をお試しください。

- 3 ON フットスイッチを押し、このセッティングを保存してプレイモードへ戻ります。

NOTE : このオプション設定は、フェイバリット毎、MIDIプリセット毎に保存できます。

ライブエディット機能

ブースト / カット

エフェクトがオンになった時の音量を 3dB ブースト / カットすることができます。12 時の位置でユニティー・ゲインです。

- ON フットスイッチを長押ししてライブエディットモードへ入ります。
両 LED が点滅したらスイッチを離します。



- MIX (BOOST/CUT) ノブを調整し、レベルを下記のように決めます。
デフォルト設定は 12 時の位置です。ブーストもカットもないユニティーゲインです。

- 3dB : グリーン
- +3dB : アンバー

- ON フットスイッチを押し、このセッティングを保存してプレイモードへ戻ります。

NOTE : このオプション設定は、フェイバリット毎、MIDIプリセット毎に保存できます。

ライブエディット機能

MIDI クロックとの同期

本機のエコーリピートと MIDI クロックの同期を決定します。

- ① ON フットスイッチを長押しします。

両 LED が点滅したらフットスイッチを離します。



- ② MODE (MIDI CLOCK SYNC) スイッチで本機と MIDI クロックとの同期設定を決定します。両 LED が一時的にステータスカラーに点灯します。

- スイッチを下げて **c** にして同期をオフにする：レッド（デフォルト設定）- MIDI クロックと非同期です。
- スイッチを **a** にして同期をオンにする：ブルー - (MIDI クロックと同期します。)

NOTE : MIDIに同期すると、LEDがピンクに点灯します。TIMEノブが入力されるクロックテンポのマルチプライヤー/ディバイダーの働きをします。（multiとsingle TAPE HEADのみ）。設定は左から1/4（最小）、1/3、1/2、x1、x2、x3、x4（最大）に設定できます。

Fixed TAPE HEADモードにおいて、MIDIタップディビジョンは、モードスイッチのタップセッティングと同じ設定になります。 : a = 16分音符、b = 付点8分音符、c = 4分音符

- ③ ON フットスイッチを押し、MIDI クロック設定を保存してプレイモードへ戻ります。

NOTE : MIDIクロックセッティングは、フェイバリット毎、MIDIプリセット毎に保存できます。

ライブエディット機能

MIDI エクスプレッションへの反応

MIDI モード設定の際、本機が MIDI エクスプレッション CC#100 を受け (0= ヒール ~ 127= トウ)、TRS エクスプレッションペダルと同様のノブセッティングコントロール動作をするかを決定します。

- 1 ON フットスイッチを長押しします。

両 LED が点滅したらフットスイッチを離します。



- 2 TAPE HEAD (MIDI EXP) スイッチで MIDI エクスプレッション CC#100 への反応を決定します。両 LED が一時的にステータスカラーに点灯します。

- fixed にセット、On : ブルー - MIDI エクスプレッションに反応します。(デフォルト設定)
- single にセット、Off : レッド - MIDI エクスプレッションに反応しません。

- 3 ON フットスイッチを押し、MIDI エクスプレッションを保存してプレイモードへ戻ります。

NOTE : MIDI エクスプレッションセッティングは、フェイバリット毎、MIDI プリセット毎に保存できます。

パワーアップモード

入力レベル

エフェクトプロセッシングへの入力レベルの選択です。

- ① ON フットスイッチを長押ししながら電源を接続します。
両 LED が点滅したらフットスイッチを離します。



- ② TIME (**INPUT LEVEL**) ノブで入力レベルモードを変更します。
ノブを回すと TAP LED がステータスカラーに点灯します。

- インストルメント：**グリーン**（デフォルト設定） - 入力のヘッドルームがギター信号レベルに設定されます。
- ライン：**レッド** - 入力ヘッドルームが 10dB 上がり、ラインレベルに対応します。

- ③ いずれかのフットスイッチを押し、入力レベルを保存してプレイモードへ戻ります。

NOTE : パワーアップモード設定は、同じ方法で変更されるまで有効です。
セッティングはプリセット毎に保存できません。

パワーアップモード

バイパスモード

本機でバッファードバイパスを選択すると、長いケーブルでギターを繋いだ時に起こる（入力信号の）高域の劣化が防げます。

- 1 ON フットスイッチを長押ししながら電源を接続します。

両 LED が点滅したらフットスイッチを離します。



- 2 MIX (BYPASS MODE) ノブでバイパスモードを変更します。

ON LED がステータスカラーに点灯します。

- トゥルーバイパス：グリーン（デフォルト設定）
- バッファードバイパス：レッド

- 3 いずれかのフットスイッチを押し、バイパス設定を保存してプレイモードへ戻ります。

NOTE : パワーアップモード設定は、同じ方法で変更されるまで有効です。
バイパスモードの設定はプリセット毎には保存されません。

パワーアップモード

スピルオーバーモード

本機をスピルオーバー・モードにセットすると、バイパスまたはプリセットの切り替え時にリバーブ信号（ウェット）がそのまま残ります（出力されます）。

NOTE : バッファーの設計上、スピルオーバーが再生される前に、使用中のプリセットが最低でも5秒はアクティブでないと正しく動作しません。バイパスの場合は即座に有効になります。

- 1 ON フットスイッチを長押ししながら電源を接続します。
両 LED が点滅したらフットスイッチを離します。



- 2 TAPE AGE (SPILLOVER MODE) ノブを回し、スピルオーバー・モードオン / オフを決定します。ノブを回すと両 LED が以下のステータスカラーに点灯します。

- スピルオーバー モード - オフ : **アンバー** (デフォルト設定)
- スピルオーバー モード - オン : **パープル**

- 3 いずれかのフットスイッチを押し、スピルオーバー モードを保存してプレイモードへ戻ります。

NOTE : パワーアップモード設定は、同じ方法で変更されるまで有効です。バイパスモードの設定はプリセット毎には保存されません。

パワーアップモード

EXP/MIDI ジャックの設定

- ①** TAP フットスイッチを長押ししながら電源を接続します。
両 LED が点滅したらフットスイッチを離します。



- ②** MIX (EXP/MIDI JACK) で EXP/MIDI ジャックの動作機能を変更します。
ON LED がステータスカラーに点灯します。

- エクスプレッションペダルモード：**グリーン**（デフォルト設定） - TRS エクスプレッションペダル（推奨 $25k\ \Omega$ ）を接続し、アサインしたコントロールノブがペダルから操作できます。（詳しくは [20 ページ](#)をご覧ください。）
- フェイバリットモード：**アンバー** - strymon MiniSwitch でフェイバリットセッティングがリコールできます。（詳しくは [21 ページ](#)をご覧ください。）
- タップモード：**レッド** - LAG TIME がタップインでセットできます。推奨フットスイッチ：strymon MiniSwitch（詳しくは [23 ページ](#)をご覧ください。）
- MIDI モード：**ブルー** - strymon MultiSwitch Plus (3 プリセット) でプリセットリコールが可能です。また、ジャックが $1/4"$ TRS MIDI 仕様になり、MIDI コントローラー (300 プリセット) を接続して MIDI フル機能が使用できます。（MultiSwitch Plus に関しては [24 ページ](#)、MIDI に関しては [31 ページ](#)をご覧ください。）

パワーアップモード

EXP/MIDI ジャックの設定



- ③ いずれかのフットスイッチを押し、EXP/MIDI ジャック設定を保存してプレイモードへ戻ります。

NOTE : パワーアップモード設定は、同じ方法で変更されるまで有効です。
設定はプリセット毎には保存されません。

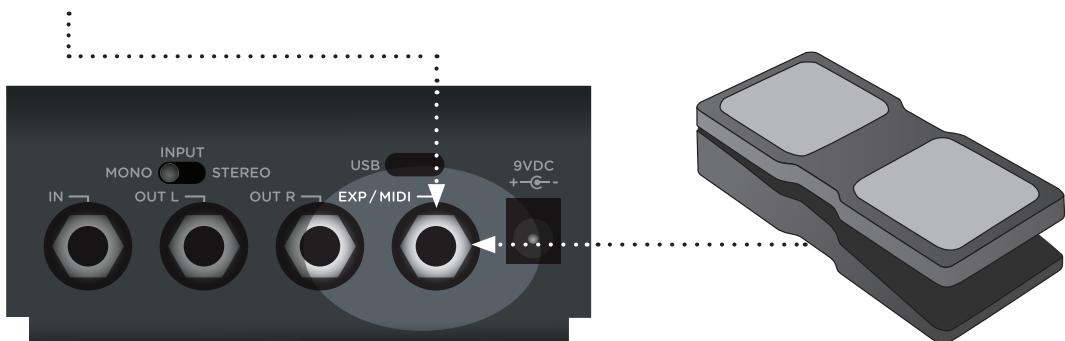
外部コントロール

エクスプレッションペダル セットアップ

TRSタイプのエクスプレッションペダルで、本機のコントロールノブを操作することができます。

- ① EXP/MIDIジャックをエクスプレッションモードに設定します。
(詳細は[18ページ](#)をご覧ください。)

- ② EXP/MIDIジャックにエクスプレッションペダルをTRSケーブルで接続します。



- ③ 両LEDが**グリーン**に点滅するまで、両フットスイッチを同時に長押しします。
- ④ エクスプレッションペダルをヒール側にロックします。
TAP LEDのみが**グリーン**に点滅します。
- ⑤ ペダルのヒールポジションでコントロールしたいノブポジションを決めます。
TAP LEDのみが**レッド**に点灯します。
- ⑥ エクスプレッションペダルをトウ側にロックします。
ON LEDのみが**グリーン**に点滅します。
- ⑦ ペダルのトウポジションでコントロールしたいノブポジションを決めます。
ON LEDのみが**レッド**に点灯します。
- ⑧ いずれかのフットスイッチを押し、エクスプレッションペダルセットアップを保存してプレイモードへ戻ります。

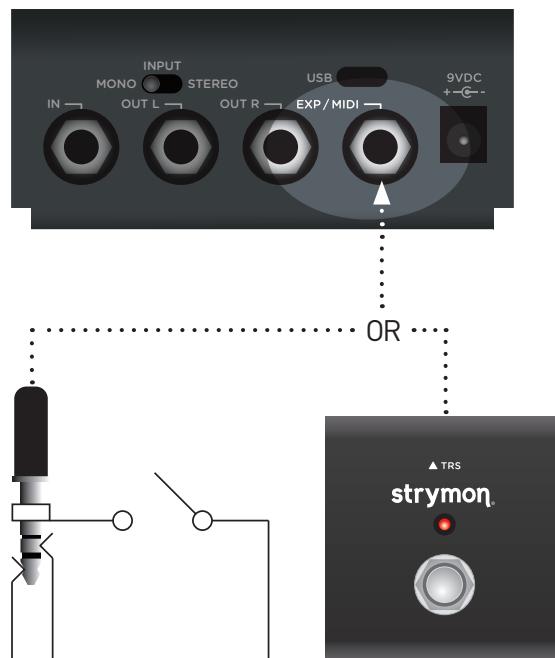
NOTE : エクスプレッションペダルの設定は、フェイバリット毎、MIDIプリセット毎に保存できます。

NOTE : 本機が**MIDI EXPRESSION**に設定され、EXP/MIDIジャックが**MIDIモード**に設定されると、エクスプレッションペダルはMIDI CC# 100 values 0 (ヒール) ~ 127 (トウ) で動作します。

外部コントロール

フェイバリットスイッチセットアップ&コンペアモード

フェイバリット設定のセーブとリコールには、MiniSwitchまたはTRSケーブル仕様のラッチスイッチを接続して行います。



- ① EXP/MIDIジャックをFAV（フェイバリット）モードにします。
(詳しくは[18ページ](#)をご覧ください。)
- ② 外部スイッチをTRSケーブルでEXP/MIDIジャックに接続します。
- ③ コントロールをFAV保存するサウンドに設定します。
- ④ フェイバリット設定を保存するには、**グリーン**に点滅するまで両フットスイッチを長押しします。その後、再度**TAP** LEDが**ブルー**に点灯するまで、**TAP**フットスイッチを長押しします。

これで外部フットスイッチを押し、フェイバリットセッティングとコントロール面のセッティングが切り替えられます。

外部コントロール

コンペアモード

フェイバリットとMIDIプリセットがリコールされているとき、ノブやスイッチを変更しセーブされたプリセットポジションに合うと、両LEDが**グリーン**に点滅します。

NOTE : 両チャンネルの全ライブエディット設定とバイパス設定は、ノブやスイッチ設定と一緒にFAV&MIDIセッティングとして保存されます。パワーアップモードはプリセットには保存されません。

NOTE : MIDIを使用している際のプリセットセーブは方法が異なります。
(詳しくは[26ページ](#)をご覧ください。)

NOTE : FAVセッティングはMIDI PC #0番にセーブされます。

外部コントロール

タップ モード

MiniSwitchまたは外部モーメンタリーフットスイッチをTRSケーブルで本機と接続します。



- ① EXP/MIDIジャックをタップモードに設定します。
(詳しくは[18ページ](#)をご覧ください。)
- ② 外部スイッチをEXP/MIDIジャックにTRSケーブルで接続します。
- ③ 4分音符のテンポでタップ入力すると、ディレイタイムがセットされます。

NOTE : タップモードのとき、外部スイッチを長押しすると無限リピートが得られます。フットスイッチを離すとノーマルリピートに戻ります。

外部コントロール

MultiSwitch Plus の設定

本機とMultiSwitch Plusを接続し、3つのプリセットにリモートアクセスする設定方法です。

- ① TAP フットスイッチを押したまま電源を投入します。
両 LED の点滅が止まつたらフットスイッチを離します。
- ② TIME ノブを最小に回し（左に回し）、MIDI チャンネルを **1** に設定します。
TAP LED は **グリーン** に点灯します。
- ③ TAPE AGE ノブを回し、次の **MIDI OUT** オプションを選択します。
両 ON LED が以下のように点灯します。:
 - MIDI CC、PC、他のデータを送る：ホワイト
 - MIDI CC、他のデータを送る：**グリーン**
 - MIDI PC、他のデータを送る：**パープル**
 - 他のデータを送る：**アンバー**
- ④ MIX ノブを右へ回しきり、**EXP/MIDI** ジャックを MIDI モードにします。
ON LED は **ブルー** に点灯します。
- ⑤ いずれかのフットスイッチを押し、MIDI チャンネル、**MIDI 出力セッティング** を保存してプレイモードへ戻ります。
- ⑥ 本機の **EXP/MIDI** ジャックに TRS ケーブルを接続します。



- ⑦ MultiSwitch Plus の **A フットスイッチ** を長押ししながら、TRS ケーブルを MultiSwitch Plus に接続し、プリセットモードを選びます。



外部コントロール

MultiSwitch Plus の使用法

MultiSwitch Plusで本機のプリセットをセーブ&セレクトします。



NOTE : MultiSwitch PlusのフットスイッチA、B、Cは、MIDI PC（プログラム チェンジ）1、2、3に相当します。

- ① 点灯していないフットスイッチを踏み、プリセットをリコールします。
- ② 点灯しているスイッチを押して本機をバイパスします。

本機のプリセットを MultiSwitch Plus でセーブする：

- ① セーブしたいサウンドを設定します。
- ② 両LEDがグリーンに点滅するまで、本機の両フットスイッチを長押しします。
- ③ MultiSwitch PlusのA、BまたはCスイッチを押しセーブ先を決めます。

MIDI 機能

MIDI 使用の準備

本機のEXP/MIDIジャックに接続されたMIDIコントローラーまたはインターフェースで、本機の300プリセットへアクセスできます。図のように1/4フォーン出力を備えたMIDIコントローラー/インターフェース、またはStrymon MIDI EXPケーブル、Strymon Conduitを使用します。

NOTE : Strymon MIDI EXPケーブルを使用する際は、MIDI OUTモードはOFFにします。
(詳しくは[30ページ](#)をご覧ください。)

strymon.net/support/elcapistan-v2で適応機種を掲載しています。



MIDI EXP cable



TRS cable



MIDI Controller with
1/4" TRS Output



MIDI 機能 - MIDI 使用法

ステップ 1 - EXP/MIDI ジャックを MIDI モードにセットする。

- ① TAP フットスイッチを長押ししながら電源を入れます。

両LEDが点滅したらフットスイッチを離します。



- ② ON LEDが**ブルー**に点灯するまで、MIXノブを時計回りに回します。

MIDI 機能 - MIDI 使用法

ステップ 2 - MIDI チャンネルの設定



- ③ TIME ノブを回しMIDIチャンネルをセットします。
TAP LEDがステータスを表示します。：

- Channel1 : グリーン(デフォルト設定)
- Channel 2 : アンバー
- Channel 3 : レッド
- Channel 4-16 : ブルー (要1/4" MIDI接続)

TAP LEDが一度ブルーに点灯し、MIDIプログラムチェンジ (PC) メッセージを受信するまで点滅が続きます。MIDI PCメッセージを受けると、本機で使用されるMIDIチャンネルが決まり、点滅が止まります。

MIDI機能 - MIDI使用法

ステップ2 - MIDIチャンネルの設定



- ④ いずれかのフットスイッチを押すと、MIDIチャンネルがセーブされ設定が終了します。

NOTE : MIDIコミュニケーションの状態をチェックするには、ONフットスイッチがバイパスの時に、CC#102で127のバリューを本機へ送ります。MIDI接続と設定が正しければ、ONフットスイッチLEDがon（点灯します）になります。

NOTE : Strymon MIDI EXPケーブルを使用して本機へデータを送るだけの場合は、必ずMIDI OUTモードをオフにしてください。（詳しくは、[30ページ](#)のMIDI OUTモードのセクションをご覧ください。）

NOTE : MIDIチャンネル設定は、フェイバリット毎やプリセット毎には保存されません。

MIDI 機能 - MIDI 使用法

ステップ 3 - MIDI OUT モードの設定

① TAP フットスイッチを長押ししながら電源を入れます。

両LEDが点滅したらフットスイッチを離します。



② TAPE AGE ノブを回し本機から出力するMIDIデータを決めます。

両LEDが点滅してステータスを表示します。

- OFF : レッド - MIDIメッセージは出力されません。 (デフォルト設定)
- THRU : ブルー - 本機が受けたMIDIメッセージをそのままMIDI OUTへ出力します。
- センドCC、PC、OTHER : ホワイト - 本機が出力するMIDI CC、PC、Sysex (システムエクスクルーシブ) メッセージがMIDI OUTから出力されます。
- センドCC、OTHER : グリーン - MIDI CC、Sysex (システムエクスクルーシブ) メッセージがMIDI OUTから出力されます。
- センドPC、OTHER : パープル - MIDI PC、Sysex (システムエクスクルーシブ) メッセージがMIDI OUTから出力されます。
- センドOTHER : アンバー - MIDI Sysex (システムエクスクルーシブ) メッセージがMIDI OUTから出力されます。

③ いずれかのフットスイッチを押すと、MIDI OUTモードがセーブされ設定が終了します。

MIDI機能

MIDIモードにおけるプリセットの保存

MIDIモードでは、300プリセットロケーションの何処へでもプリセットが保存できます。

- ① セーブモード（保存モード）へは、両フットスイッチを長押しします。
両LEDがグリーンに点滅し、MIDI PCメッセージの受信待ちの状態を表示します。



- ② 現ペダルステータスをプリセットロケーションにロードするには、
TAP フットスイッチをLEDがブルーに点灯するまで長押しします。



現ペダルステータスをプリセットロケーションにロードするには、（現MIDIチャンネルで）MIDIプログラムチェンジを送ります。例：

- プリセットをセーブするのに、プログラムチェンジ#10をペダルのメモリーロケーションへ送ります。
- このプリセットをリコールするには、MIDIコントローラーまたはシーケンサーからプログラムチェンジ#10を送ります。

NOTE : ONフットスイッチを押してセーブをキャンセルします。

MIDI スペシフィケーション

MIDI プログラムチェンジ

本機には0-299までの300プリセットロケーションがあります。MIDIプログラムチェンジメッセージは最大128（0-127）のため、これらを以下のように3つのMIDIパッチバンクに振り分けます。

MIDI BANK 0 = プリセット 0-127

MIDI BANK 1 = プリセット 128-255

MIDI BANK 2 = プリセット 256-299

0 FAVセッティング（詳しくは[21ページ](#)をご覧ください。）

1 MultiSwitch Plus フットスイッチ 1

2 MultiSwitch Plus フットスイッチ 2

3 MultiSwitch Plus フットスイッチ 3

127 マニュアルモード

NOTE : 一部のMIDIアプリケーションやコントローラーは、MIDIプログラムチェンジを「1」からスタートします。このような場合は、MIDIプログラムロケーションを1つ上げてください。

本機は通常の電源投入時には、MIDI Bank（バンク）「0」が選ばれるため、プリセットは最初の127を使う方が良いでしょう。MIDI PCを受けてプリセットがロードされます。

MIDI Bank1または2を使用する際は、各MIDI PCの前にMIDI Bankチェンジメッセージ（MIDI CC #0とMIDI Bank#）を送る必要があります。

バンク0&パッチ127（MIDIメッセージ）を本機が受けるとマニュアルモードになり、本機のコントロール&スイッチの現セッティング（操作面の実セッティング）に戻ります。これはプリセットとしては保存されません。

MIDI スペシフィケーション

MIDI CCs

EL CAPISTAN USB - MIDI CC NUMBERS			
CC#	PARAMETER	RANGE	ENUMERATION
0	Bank Select	0-2	(0=Bank 1, 1=Bank 2, 2=Bank 3)
11	Tape Head	1-3	(1=fixed, 2=multi, 3=single)
12	Time	0-127	
13	Wow & Flutter	0-127	
14	Tape Age	0-127	
15	Mode	1-3	(1=a, 2=b, 3=c)
16	Mix	0-127	
17	Spring	0-127	
18	Repeats	0-127	
19	Low End Contour	0-127	
20	Tape Bias	0-127	
21	Tape Crinkle	0-127	
22	Boost/Cut	0-127	
27	Footswitch A	0, 127	(0=release, 1-127=press)
28	Footswitch B	0, 127	(0=release, 1-127=press)
60	MIDI Expression Off/On	0, 127	(0=off, 1-127=on)
63	MIDI Clock Off/On	0, 127	(0=off, 1-127=on)
93	Remote Tap	Any	
97	Infinite Repeats	0, 127	(0=release, 1-127=hold)
100	Expression Pedal	0-127	(0=heel, 127=toe)
102	Bypass/On	0, 127	(0=bypass, 1-127=on)

NOTE : 全てのon/offパラメーターは、0 = off、他のパラメーター（1-127） = on で実行されます。多くのMIDIコントローラーは、「0&127」が「on/off」スイッチで使用されます。

NOTE : 一部のMIDIアプリケーションやコントローラーは、MIDIプログラムチェンジを「1」からスタートします。このような場合は、MIDIプログラムロケーションを1つ上げてください。

ファクトリーリセット

工場出荷時の状態に戻すプロセスです。

設定した機能やプリセットが全てファクトリーデフォルトセッティングに変更されます。

- ① ON フットスイッチを長押ししながら電源を入れます。
両LEDが点滅したらスイッチを離します。



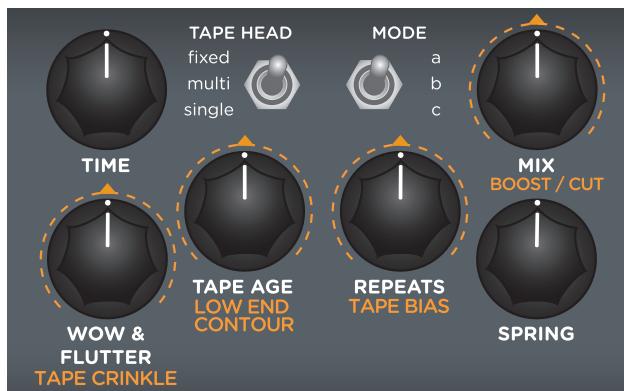
- ② WOW & FRUTTER ノブを0から100%まで2度回します。
両 LED が色を変え、レッドの点滅まで変化します。

- Turn 1 : アンバー
- Turn 2 : レッド
- Turn 3 : アンバー
- Turn 4 : 両LEDがレッド。この後リセットが始まります。

ファクトリーリセット

FACTORY DEFAULT SETTINGS

EXP/MIDI Jack	Assigned to Expression mode and configured to control the TIME knob
Input Level	Instrument
Bypass Mode	True Bypass
MIDI Channel	1
MIDI OUT Mode	Off
MIDI Clock Sync	Off
MIDI Expression	On
Live Edit, Secondary Functions	TAPE CRINKLE = 12 o'clock LOW END CONTOUR = 12 o'clock TAPE BIAS = 12 o'clock BOOST/CUT = 12 o'clock, unity gain



Default Live Edit Setting

DELAY TIME RANGES

Fixed Head A	50ms - 250ms
Fixed Head B	150ms - 750ms
Fixed Head C	300ms - 1.5s
Multi Head A	240ms - 1.2s (heads 1 & 2 selected)
Multi Head B	240ms - 1.2s (heads 2 & 3 selected)
Multi Head C	240ms - 1.2s (heads 1 & 3 selected)
Single Head A	25ms - 770ms
Single Head B	50ms - 1.5s
Single Head C (Sound on Sound)	TIME knob left of 12 o'clock (double speed): max SOS loop time 10s. TIME knob right of 12 o'clock (normal speed): max SOS loop time 20s

主な仕様

- テープエコーのニュアンスやフィールを克明に再現したdTapeアルゴリズム
- 3つのテープマシーンタイプ: fixed (1つの再生ヘッド)、Multi (マルチ再生ヘッド)、single (スライド録音ヘッド)
- フレキシブルなエコーポイントが設定できる3つのテープマシーンモデル
- 独立したスプリングリバーブ
- 選択可能なトゥルーバイパス（リースイッチング）&バッファードバイパス
- サウンドオンサウンド：テープスタイルのループ機能
- 高性能ウルトラローノイズA/D & D/Aコンバーター
- ドライ信号をデジタルコンバートしないアナログドライパス方式
- インストルメント&ラインの両信号に対応可能な最大+10dBuのワイドヘッドルーム
- TRSエクスプレッションペダル、Strymon MiniSwitch、MultiSwitch Plus、TRS MIDIが接続可能なエクスプレッション入力
- MIDI CCs、MIDIクロック同期、300プリセットロケーションのフルMIDI機能をサポートします。
- コンピューターとのMIDIコネクション、ファームウェアのアップデートが可能なUSB-Cジャック搭載。
- ハイパフォーマンス520MHz ARMスーパースカラープロセッサー
- 32-bit浮遊演算プロセッシング
- ステレオイン（TRSケーブル使用）&ステレオアウト
- ハイインピーダンス超低ノイズClass-A JFETプリアンプ入力
- ローインピーダンスステレオ出力
- 堅牢軽量なアルミシャーシ
- Designed and built in the USA

スペシフィケーション

入力インピーダンス	1 Meg Ohm
出力インピーダンス	100 Ohm
A/D & D/A	24-bit 96kHz
最大入力レベル	+10 dBu
S/N	115 dB typical
バイパススイッチング	トゥルーバイパス(リレースイッチング)
サイズ	(D) 11.4 cm x (W) 10.2 cm x (H) 4.4 cm

電源アダプター規格

9VDCセンターマイナス、300mA以上のアダプターを使用してください。

9Vより高い電圧を入力すると、本機に損傷を与えます。

Appendix 1 : サンプルセッティング

サンプルセッティング

TWANGER



MIDI Program Change 0
MiniSwitch Favorite

IN THE CANYON



MIDI Program Change 1
MultiSwitch Plus A

DREAMY MOD



MIDI Program Change 2
MultiSwitch Plus B

PULSING REPEATS



MIDI Program Change 3
MultiSwitch Plus C

OLDER SIBLING



MIDI Program Change 4

ライブエディット機能

本機にはノブやスイッチがない幾つかのパラメーターが存在します。これらを**ライブエディット機能**と呼び、[9ページ](#)で詳しく説明しています。

このページのサンプルセッティングは、この機能のデフォルト設定を採用しています。

Appendix 2 : パワーアップモード クイックリファレンス

パワーアップモード - クイックリファレンス

グローバルパラメーターと機能は、通常の電源オン/オフの際には設定が保持されます。

ジェネラル・オプション

- ① ON フットスイッチを長押ししながら電源を接続します。両LEDが点滅したらフットスイッチを離してください。
- ② ノブやボタンの機能設定は下記をご覧ください。
- ③ いずれかのフットスイッチを押してこのパワーアップ設定から出ます。

入力レベル TIME ノブを回して、設定したいモードに合わせてください。

図を用いた説明は [15](#) ステータスは TAP LED に表示されます。
[ページ](#)をご覧ください

- インstrument : グリーン (デフォルト設定)
- ライン : レッド

バイパスモード MIX ノブを回して、設定したいモードに合わせてください。

図を用いた説明は [16](#) ON LED に表示されます。
[ページ](#)をご覧ください

- トゥルーバイパス : グリーン (デフォルト設定)
- バッファードバイパス : レッド

スピルオーバーモード TAPE AGE ノブを回して、設定したいモードに合わせてください。
両 LED に表示されます。

図を用いた説明は [17](#)
[ページ](#)をご覧ください

- オフ : アンバー (デフォルト設定)
- オン : パープル

ファクトリーリセット WOW & FRUTTER ノブを 0% ~ 100% まで 2 度回します。
ステータスは両 LED に表示されます。

図を用いた説明は [34](#)
[ページ](#)をご覧ください

パワーアップモード - クイックリファレンス

グローバルパラメーターと機能は、パワーアップモードを実行する際にアクセスできます。通常の電源オン/オフの際には設定が保持されます。

MIDI & Jack オプション

- ① TAP フットスイッチを長押ししながら電源を接続します。
両LEDが点滅したらフットスイッチを離してください。
- ② ノブやボタンの機能設定は下記をご覧ください。
- ③ いずれかのフットスイッチを押してこのパワーアップの設定から出ます。

EXP/MIDI ジャック MIX ノブを回すと ON LED がチャンネルステータスを表示します。 モード

- 図を用いた説明は [18 ページ](#) をご覧ください
- エクスプレッション : グリーン (デフォルト設定)
 - フェイバリット : アンバー
 - TAP : レッド
 - MIDI : ブルー

MIDI チャンネル TIME ノブを回すと TAP LED がチャンネルステータスを表示します。 モード

- 図を用いた説明は [28 ページ](#) をご覧ください
- 1 : グリーン (デフォルト設定)
 - 2 : アンバー
 - 3 : レッド
 - 4-16 : ブルー (受けた MIDI メッセージでチャンネルセレクトされます。)

MIDI アウトモード TAPE AGE ノブを回すと両 LED がチャンネルステータスを表示します。 モード

- 図を用いた説明は [30 ページ](#) をご覧ください
- OFF : レッド (デフォルト設定)
 - THROUGH : ブルー
 - ON CC、PC、OTHER : ホワイト
 - ON CC、OTHER : グリーン
 - ON PC、OTHER : パープル
 - ON OTHER : アンバー

Appendix 3 : ライブエディットコントロール クイックリファレンス

ライブエディットコントロール - クイッククリファレンス

本機には、特定ノブやスイッチのない幾つかの機能が隠されています。

これらはプリセット毎にセーブできます。詳しくは[9ページ](#)をご覧ください。

- ① 両LEDが点滅しライブエディットモードに入るまで、ONフットスイッチを長押しします。
- ② フットスイッチを離し、次の説明に従って設定します。
- ③ ONフットスイッチを押して、設定を保存しライブエディットモードから出ます。

LOW END CONTOUR TAPE AGE ノブを回すと ON LED がグリーン（低域強調）～アンバー（ハイパス強調）でステータスを表示します。デフォルト設定は 12 時の位置です。
図を用いた説明は [9ページ](#) をご覧ください

TAPE CRINKLE WOW & FRUTTER ノブを回すと TAP LED がグリーン（クリーン、フレッシュテープ）～アンバー（オールド、使い古したテープ）でステータスを表示します。デフォルト設定は 12 時の位置です。
図を用いた説明は [10ページ](#) をご覧ください

TAPE BIAS REPEATS ノブを回すと両 LED がグリーン（アンダーバイアス）～アンバー（オーバーバイアス）でステータスを表示します。デフォルト設定は 12 時の位置です。
図を用いた説明は [11ページ](#) をご覧ください

BOOST / CUT MIX ノブを回すと両 LED がグリーン (-3dB - ユニティゲイン) ～アンバー (ユニティゲイン - +3dB) でステータスを表示します。ユニティゲインのデフォルト設定は 12 時の位置です。
図を用いた説明は [12ページ](#) をご覧ください

MIDI クロック同期 MODE スイッチを c (ダウン) または a (アップ) に設定すると、両 LED がレッド (C ポジション、オフ、デフォルト設定) ～ブルー (A ポジション、オン) でコントロールの変化に反応してステータスを表示します。
図を用いた説明は [13ページ](#) をご覧ください

MIDI エクスプレッション TAPE HEAD スイッチを fixed または single に設定すると、両 LED がブルー (fixed、デフォルト設定) ～レッド (single) でコントロールの変化に反応してステータスを表示します。
図を用いた説明は [14ページ](#) をご覧ください

使用上のご注意

▲ 警告：安全のため、特に注意していただきたいこと

1. 異常があるときは電源プラグをコンセントから抜いて、ご購入先もしくは、弊社迄ご連絡下さい。異常な音がしたり、煙が出て異臭がした時などは、電源プラグをコンセントから抜いて下さい。
2. 電気ショックを避けるため、本体を絶対に開けないで下さい。本機は、高電圧が発生しているため危険です。内部に触ると感電する恐れがあります。内部の調整や修理は、弊社にご依頼下さい。また、火事や感電を避けるために、湿度が非常に高い場所に置いたり、雨天の際に野外で使用することは避けて下さい。

▲ 警告：次のような場所での使用は出来る限り避けて下さい。

- 湿度の非常に高い場所
- 砂やほこりが多い場所
- 台所、バスルーム、湿気の多い地下室など、水のかかりやすい場所
- 空気の循環を妨げる場所、ヒーターの近くなど、温度が高い場所

Strymon 限定保証（譲渡不可）に関する規定

保証について

Strymon は、正規 Strymon ディーラーから購入された場合、その製品と製品中のコンポーネントが、購入日から次の期間、材質および製造上の欠陥がないことを保証します。

製品保証が 1 年間となる製品

第一世代のペダル・・・blueSky、El Capistan、Flint、Lex、Deco、DIG
Brigadier、OB.1、Ola、Orbit、TimeLine、Mobius、BigSky

製品保証が 2 年間となる製品

上記以外のエフェクトペダル、ユーロラックモジュール、パワーサプライ製品、MIDI インターフェイス
※ 付属品のパワーサプライ、および、MIDI ケーブルアクセサリーについては、初期不良の場合のみ製品保証を適応させていただきます。

保証期間内に製品が故障した場合、Strymon 日本総代理店株式会社HotoneJapanが、最初の購入者に限り無償で修理、または当社の裁量により製品を交換いたします。また、本保証を最初の購入者以外へ譲渡することは出来ません。

免責事項

この保証は、ユーザーマニュアルに記載されている推奨の使用方法に従って、Strymon 製品を使用中に発見された製造上の欠陥を対象とします。この保証は紛失や盗難には適用されません。また、誤用、不正な改造、不適切な保管、落雷、または自然災害によって引き起こされた損害にも適用されません。上記の状況によって生じた損傷は、保証対象外の修理料金が発生する場合があります。

非正規販売店や海外から購入された製品は、この保証の対象外となります。保証は譲渡不可であり、中古品または譲渡された製品には適用されません。

保証範囲

故障の場合は、前項の通り、修理または交換の対応のみとなります。株式会社HotoneJapanは、本製品の故障に起因するいかなる損害に対しても一切の責任を負いかねます。保証外の損害には、逸失利益、逸失貯蓄、他の機器への損害、および本製品の使用または使用不能から生じる付随的または派生的損害等が含まれますが、この限りではありません。いかなる場合においても、当社は、製品の市場想定価格を超えない範囲で保証対応し、それを超える保証に関する責任を負いません。